



チューンナップサブウーファWITHパワーアンプ

TDX700W

取付説明書

090003-30390700

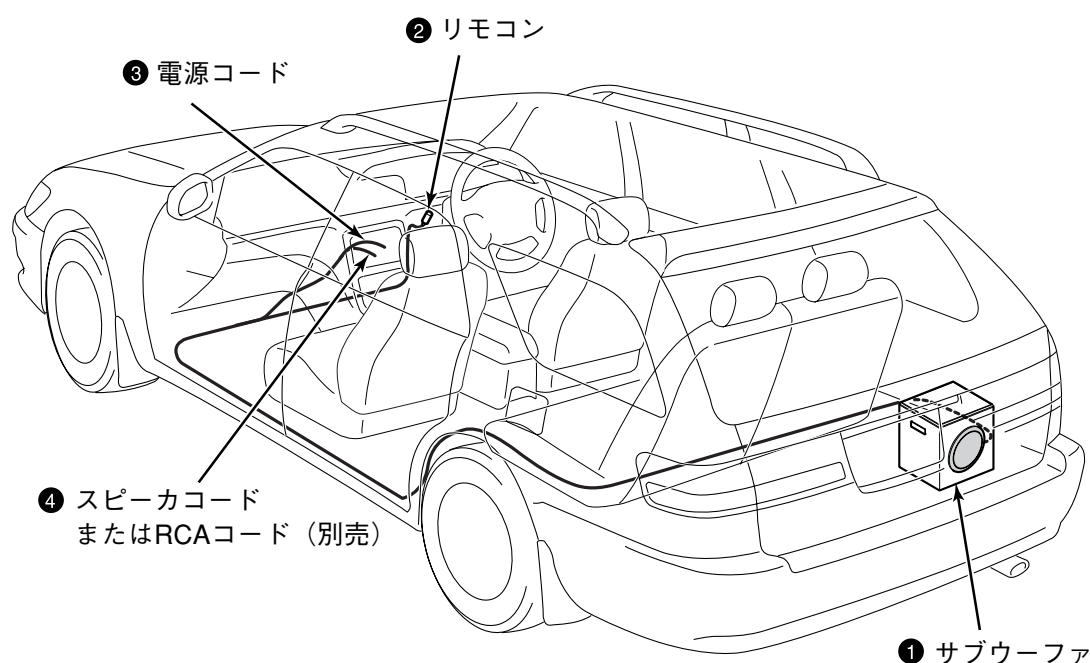
お客さまへのお願い

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
本機の実取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ー販売店様へー

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図

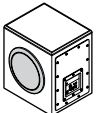
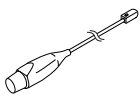
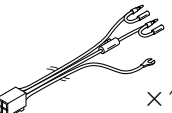
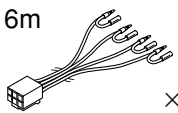


FUJITSU TEN

構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係

① サブウーファ (本体)  ×1	② リモコン 6m  ×1	③ 電源コード 6m 4Pコネクタ  ×1
④ スピーカコード 6m 6Pコネクタ  ×1		

●取付用部品関係

⑤ 取付ブラケット  ×4	⑥ マジックテープ オス (目の粗い方)  ×1	⑦ マジックテープ メス (目の細かい方)  ×1
⑧ タッピングスクリュ (φ5×16)  ×8	⑨ スクリュ (M8×16)  ×4	

※その他の構成部品（取付説明書、保証書、シールなどの資料類）

作業の進め方

- 1) 構成部品の確認 (☞ 構成部品)
- 2) バッテリーの⊖端子を外す
- 3) 接続を確認する (☞ 接続のしかた) (☞ システム接続例)
- 4) サブウーファを取り付ける (☞ サブウーファの取り付けについて)
- 5) 配線する
- 6) バッテリーのマイナス端子を元に戻す

●安全に正しくお使いいただくために

●この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。


アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

**警告**

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子をはずす。プラス ⊕ とマイナス ⊖ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

**注意**

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- スピーカー端子が車両部品、ボデー等と干渉や接触しないように取り付け。事故・火災・感電の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に極力操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故の原因となります。車を停車させてから操作をしてください。

**注意**

- 本機のと、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

**注意**

- 取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

●サブウーファの取り付けについて

●取り付け上のご注意

**警告**

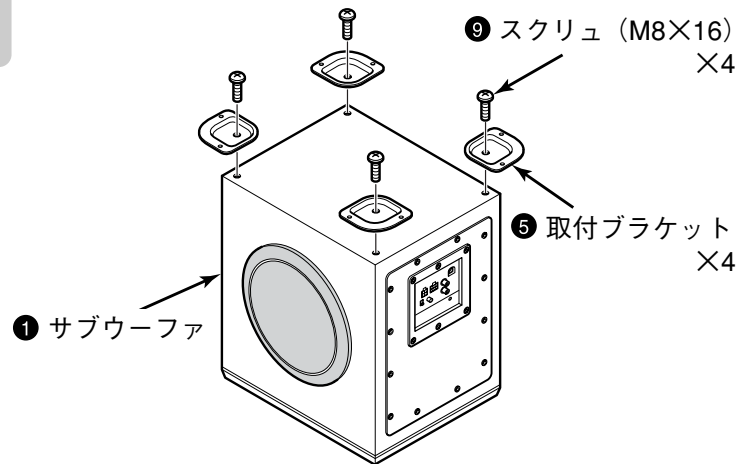
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。
- 本体の取付けは、必ず付属の取付ブラケットとネジを使用して確実に固定してください。

1 サブウーファを組み立てる

① サブウーファの底面に取付ブラケットをスクリユで取り付ける。

**注意**

サブウーファを持ち運ぶ時、スピーカのコーン紙部分に手を触れないようにしてください。



2 サブウーファを取付ける

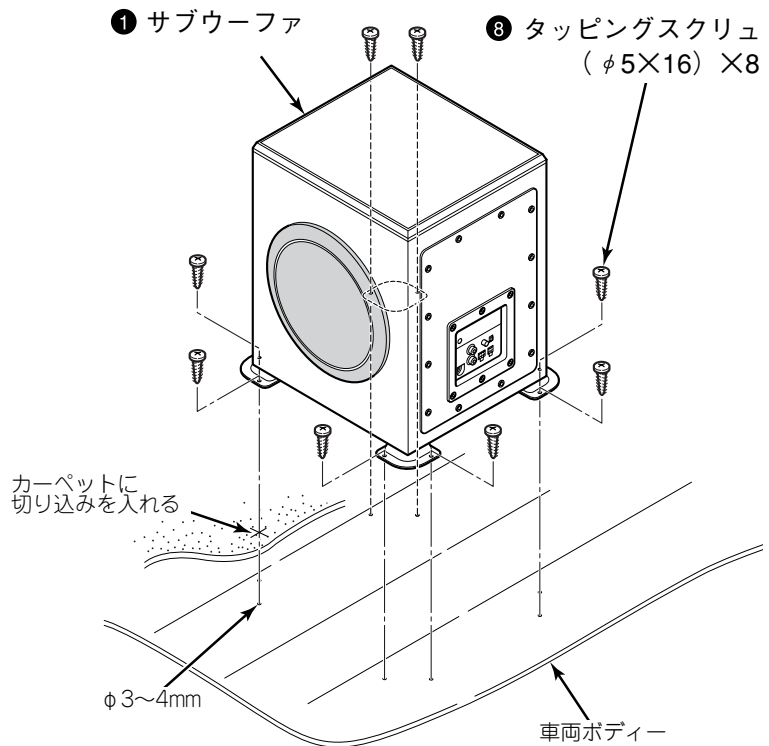
- ① カーペットに切り込み（8ヶ所）をあけ、車両ボディーに取付穴位置をマーキングする。
- ② 車両ボディーのマーキング位置にφ3～4mmの穴（8ヶ所）をあける。

**警告**

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。

**注意**

サブウーファを持ち運ぶ時、スピーカのコーン紙部分に手を触れないようにしてください。

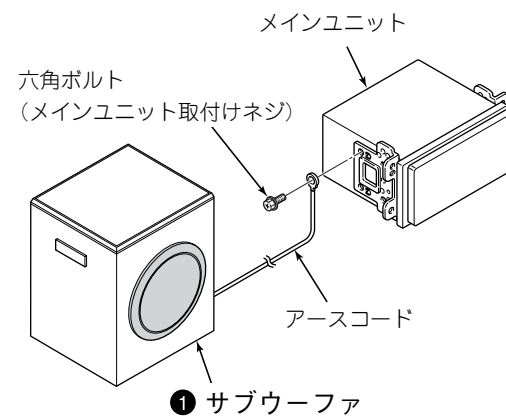


3 各コードを配線する

- ① 電源コードおよびスピーカコードをメインユニット取付位置まで配線する。
- ② アースコードをメインユニットに取付ボルトで共締めする。

アドバイス

アースコードは異音防止のため、必ずメインユニットと共締めしてください。



●リモコンの取り付け

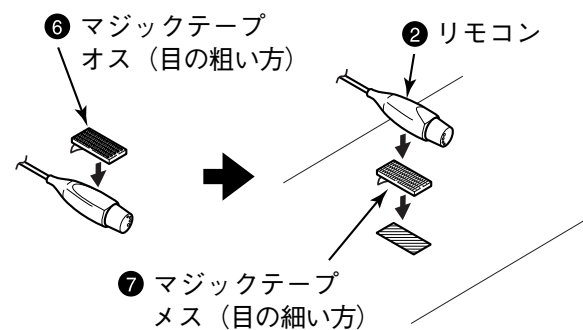


警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けない。交通事故の原因になります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- 可動部（サンバイザー・エアバッグ部等）へ取り付けない。事故やケガの原因となります。

1 リモコンを取り付ける

- ① マジックテープオス（目の粗い方）のハクリ紙をはがし、リモコンの裏面に貼り付ける。
- ② マジックテープメス（目の細い方）のハクリ紙をはがし、取付位置に貼り付ける。
- ③ リモコンをマジックテープで取付位置に取り付ける。
- ④ リモコンコードをサブウーファまで配線し、接続する。



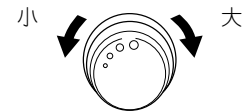
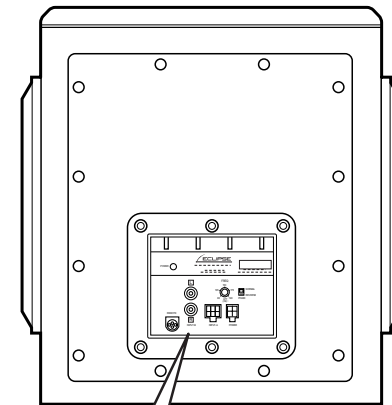
警告

運転者は走行中に操作をしない。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

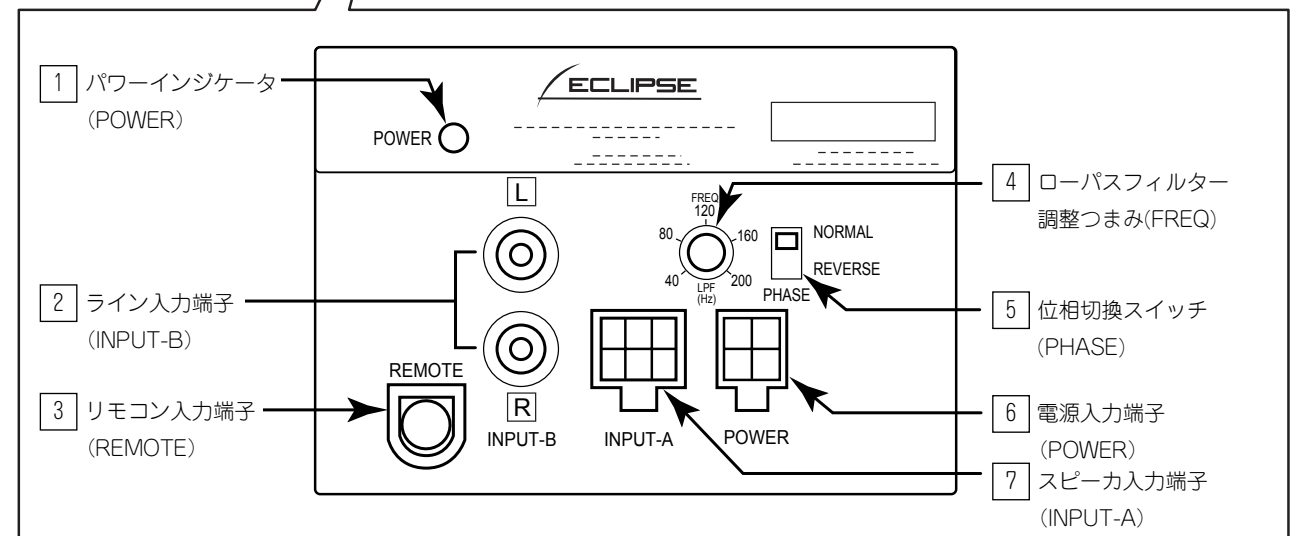
●各部の名称と働き

[サブウーファ（本体）]

[リモコン]



8 ゲイン調整つまみ (GAIN)



1 パワーインジケータ (POWER)

電源がON時点灯します。

2 ライン入力端子 (INPUT-B)

LINE IN端子を使用する場合に接続します。

3 リモコン入力端子 (REMOTE)

リモコンコードを接続します。

4 ローパスフィルター (FREQ)

高域の音をカットすることができます。
ローパスフィルターの周波数を40～200 Hzの間で調整できます。

5 位相切換スイッチ (PHASE)

リアおよびフロントスピーカと一緒に鳴らしたとき、低音がよく聴こえる方に切り換えてください。

6 電源入力端子 (POWER)

電源コードを接続します。

7 スピーカ入力端子 (INPUT-A)

スピーカ入力端子を使用する場合に接続します。

8 ゲイン調整つまみ (GAIN)

ウーファ出力のレベル調整ができます。
お好みの音量に調整してご使用ください。

●システム接続例



警告

●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



注意

サブウーファの最大消費電流は10Aです。他の機器と接続した場合、車両のバッテリー電源から常時10A以上の電流を供給できる端子がない場合は、バッテリーに直接接続してください。

バッテリー電源には自動車低電圧電線AV1.25以上、ヒューズは10Aのハーネスを使用してください。指定外のものを使用すると、リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



アドバイス

●メインユニットに接続する前にスピーカの取付及び配線を行ってください。

●機種によりメインユニットの背面端子が異なります。必ず、接続するメインユニットの取付要領書を参照してください。

■スピーカコードで接続する場合



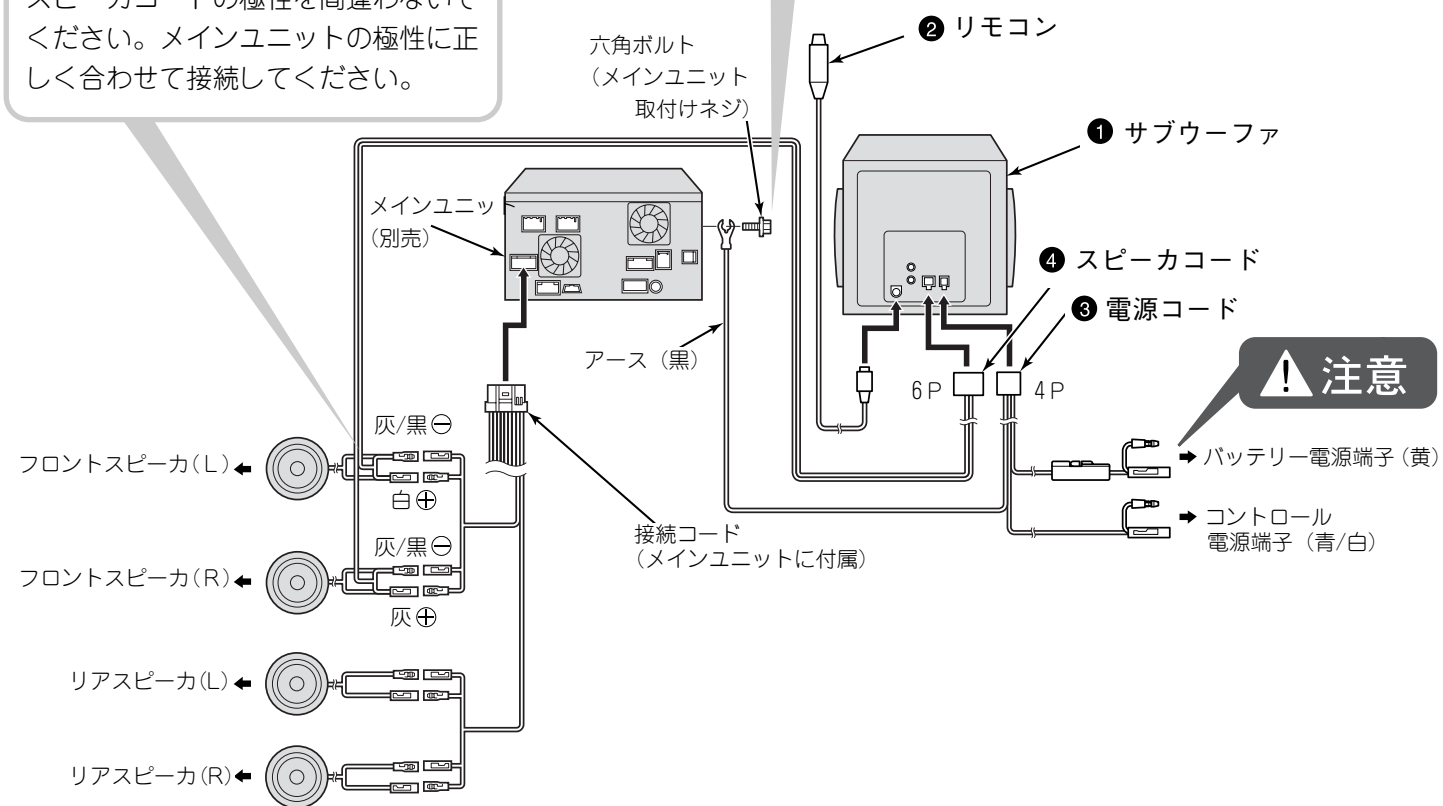
アドバイス

アースコードは、必ずメインユニット付属の取付けネジを使用し、メインユニットと共締めしてください。



アドバイス

スピーカコードの極性を間違わないでください。メインユニットの極性に正しく合わせて接続してください。

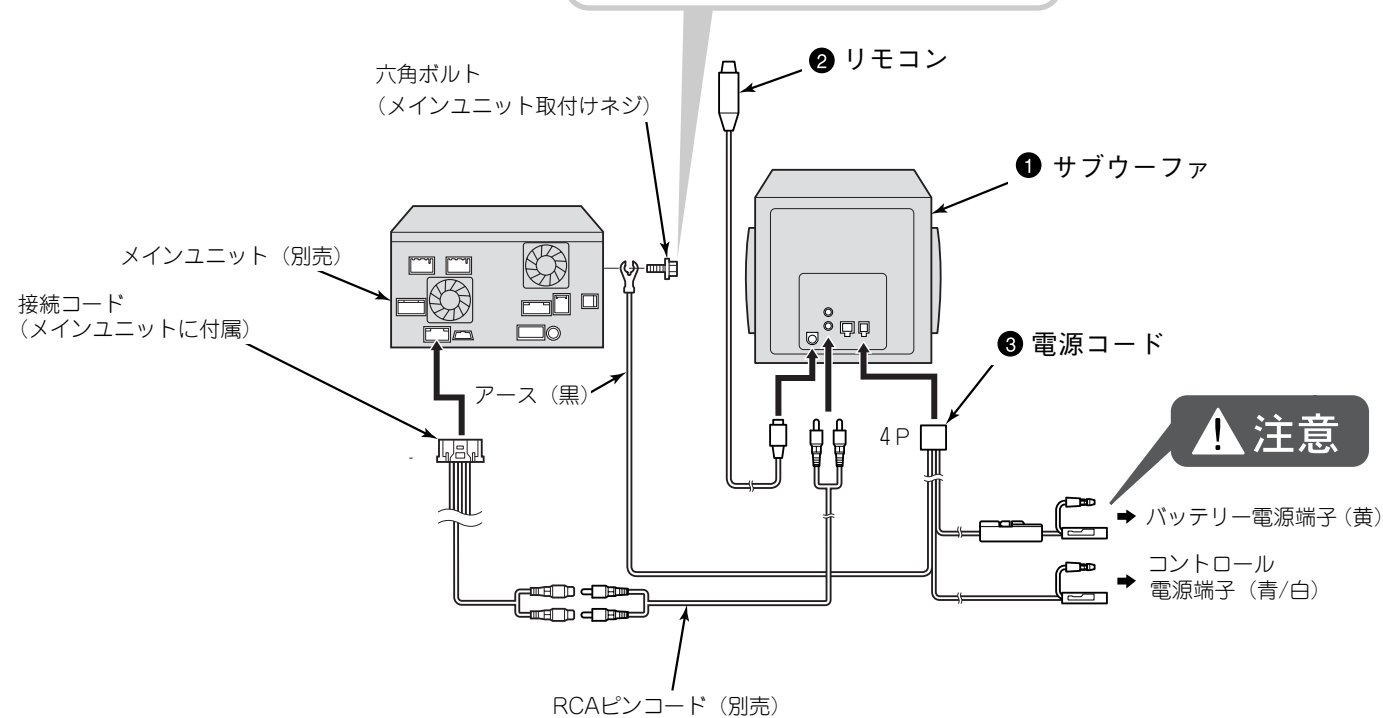


■RCAコード（別売）で接続する場合



アドバイス

アースコードは、必ずメインユニット付属の取付けネジを使用し、メインユニットと共締めしてください。



●仕様

—本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。—

種	類	チューンナップサブウーファ (アンプ内蔵)
使用スピーカ		16cmコーン型 × 2
入力端子		LINE IN (1系統) スピーカ入力 (1系統)
アンプ部最大出力		120W (60W+60W) (インピーダンス 2Ω+2Ω)
カットオフ周波数		40~200Hz可変 (−12dB/oct. ローパスフィルタ)
再生周波数帯域		30Hz~200Hz
出力音圧レベル		82.5dB/w・m
電圧電源		DC14.4V マイナスアース車用
最大消費電流		10A
外形寸法		幅300mm×高さ350mm×奥行き350mm
質量		約9.8kg (付属品含まず)